

令和4年度 犀川砂防事務所の事業概要

R4.4

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて
～「安全で、安心して暮らせる」ために～
“ハード・ソフト両対策の一体的かつ効率的な減災対策の推進”

1 ハード対策の強化・推進（人命・財産の保全）

■要配慮者利用施設や避難所を守る土砂災害対策事業を推進します。

■砂防施設等の長寿命化対策に取り組みます。

○砂防事業＜土石流の危険を低減します＞



＜松本市 知見寺＞



＜筑北村 中町＞

○地すべり対策事業

＜地すべりの危険を低減します＞



＜安曇野市 高鼻＞



＜池田町 宮の平＞

○急傾斜地崩壊対策事業

＜家屋裏の急傾斜地からの土砂崩落の危険を低減します＞



＜大町市 東大塚＞



＜筑北村 竹之下＞

○災害関連緊急事業（砂防）（地すべり対策）

＜令和元年及び令和2年の被災個所の緊急対策を実施します＞



＜筑北村 玉根＞



＜生坂村 袖山＞

2 ソフト対策の充実（人命を守る警戒避難体制）

■土砂災害警戒区域等の指定（二巡目）に向けて調査を行います。

指定から概ね5年以上経過し、最新の状況により見直します。

■地域防災力強化に取り組みます。

- ・住民主導型警戒避難体制構築（地区防災マップ作成）を支援します。
- ・防災学習や現場見学会を通じて、地域住民や小中学生に対し、防災知識の向上に取り組みます。
- ・赤牛先生による地域での防災教育、啓発活動に取り組みます。



＜地区防災マップ 住民懇談会＞

3 地域との協働による防災力向上の推進

■土砂災害危険箇所のパトロールを、

砂防ボランティア協会等の協力を得て実施します。

■自治会やボランティア団体による砂防施設周辺の

草刈り等、日常の維持管理を協働で進めます。

砂防ボランティア 23団体（令和3年度 16団体で実施）

■登録有形文化財（麻績村 芦澤石積堰堤）

「芦澤砂防計画検討委員会」の検討結果に基づき、
文化財の保護と利活用に配慮した施設整備を行ない、
地域づくりと連携した砂防事業に取り組めます。



＜ボランティアによる草刈り＞



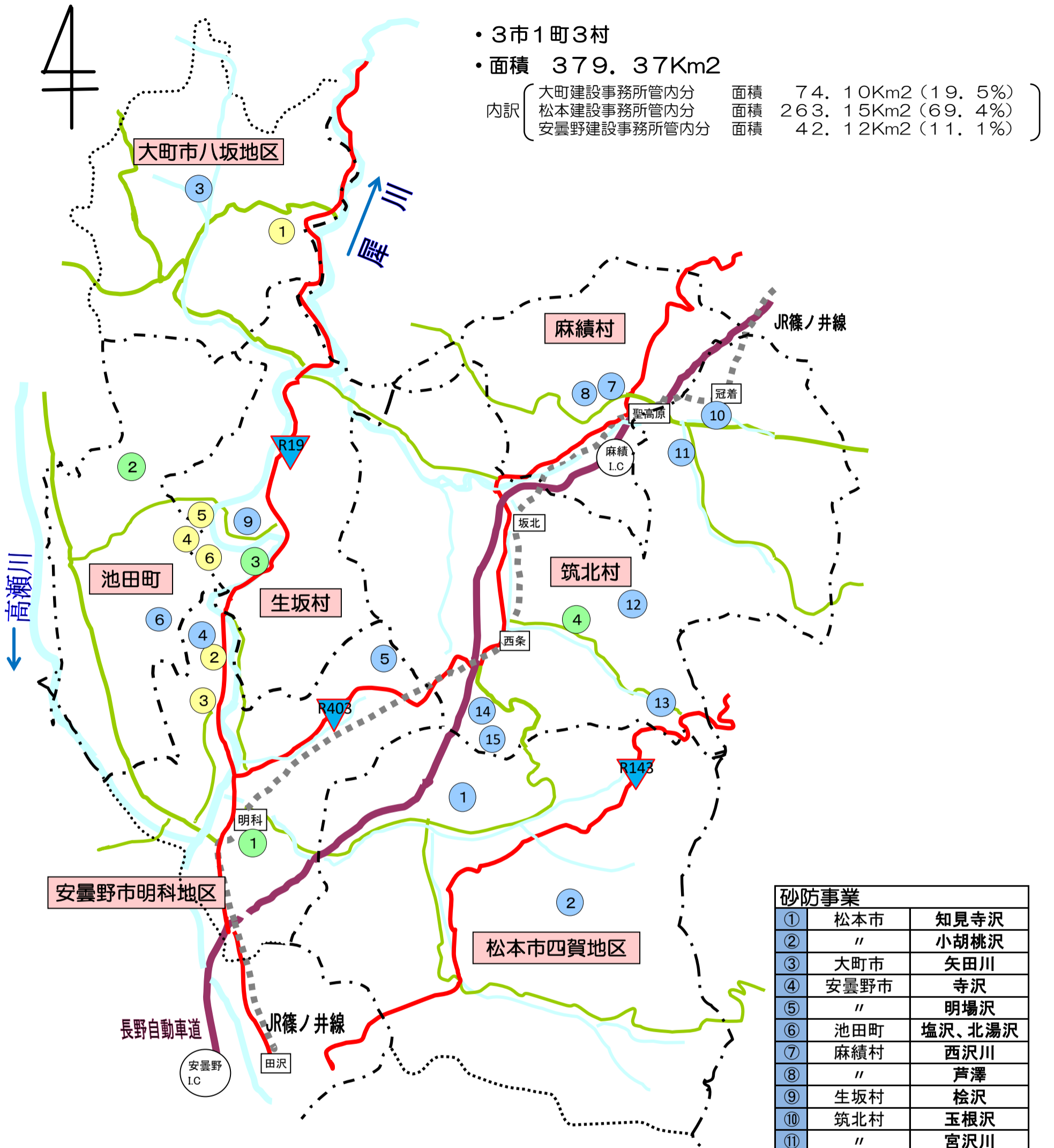
＜小学校での防災学習＞



＜芦澤 第三号石積堰堤＞



＜芦澤 第四号石積堰堤＞



- 3市1町3村
- 面積 379.37Km²

内訳	大町建設事務所管内分	面積	74.10Km ² (19.5%)
	松本建設事務所管内分	面積	263.15Km ² (69.4%)
	安曇野建設事務所管内分	面積	42.12Km ² (11.1%)

凡例	
- - - - -	市町村界
.....	旧村界
~~~~~	河川
	JR
———	高速道
———	国道
———	県道

砂防事業	15ヶ所
地すべり対策事業	6ヶ所
急傾斜崩壊対策事業	4ヶ所
合計	25ヶ所

砂防事業		
①	松本市	知見寺沢
②	〃	小胡桃沢
③	大町市	矢田川
④	安曇野市	寺沢
⑤	〃	明場沢
⑥	池田町	塩沢、北湯沢
⑦	麻績村	西沢川
⑧	〃	芦澤
⑨	生坂村	桧沢
⑩	筑北村	玉根沢
⑪	〃	宮沢川
⑫	〃	栃平沢
⑬	〃	東条川
⑭	〃	滝の沢
⑮	〃	立峠沢
地すべり対策事業		
①	大町市	地志原他
②	安曇野市	金井沢
③	〃	高鼻
④	池田町	宮の平
⑤	生坂村	袖山
⑥	〃	大倉
急傾斜崩壊対策事業		
①	安曇野市	駅上
②	池田町	堀之内
③	生坂村	中村
④	筑北村	竹之下